

## 2025年度 医師負担軽減計画

### 【達成度評価】

○（全部実施）：院内のすべての対象診療科・病棟で実施できている。

△（一部実施・5割以上）：一部の科や病棟で実施しており、その割合が5割以上ある。

▲（一部実施・5割未満）：実施はしているが、まだ一部（5割未満）にとどまる。

分野	項目	具体的な実施内容 (Do)	担当部署	期限	年度末達成度
A.タスク・シフト	①医師事務作業補助者(MA)の活用	□診断書・介護意見書の下書き作成をクラークへ完全移管	クラーク科	通年	
		□NCD等データベース登録の代行入力	医事課		
		□入院時クリニカルパスの選定・入力補助	クラーク科		
	②多職種への業務移管	□薬剤師：入院時持参薬確認、退院処方説明、プロトコル処方の活用	薬剤科	順次	
		□看護師：特定行為の実施、予診の代行	看護部		
		□看護師：検査説明・同意書取得の補助	看護部		
B.労働時間短縮	③勤務間インターバルの確保	□当直明けの勤務負担軽減（午後業務の免除、手術枠からの除外等）	医局	4月～	
		□勤務間インターバル（9時間）確保ルールの周知と実施	医局		
	④適正な労務管理	□ICカード等による客観的な出退勤記録の徹底	総務課	通年	
		□副業・兼業先の労働時間の申告と通算管理			
		□連続当直の禁止、当直翌日の配慮			
C.環境・ICT	⑤業務効率化	□音声入力システムの活用によるカルテ記載時間短縮	施設管理課	通年	
		□地域包括ケア病棟等の多職種カンファレンスの短縮（WEB活用）	地域連携室		
D.待遇改善	⑥女性医師・育児支援	□短時間正規雇用制度の活用促進	総務課	通年	
		□院内保育所の利用環境整備			